

競技注意事項

2020年度 プレシーズンゲーム

※新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意事項

① 競技者及び来場者に関して

選手の来場は競技開始時間の概ね2時間前とし、競技終了後は速やかに帰宅してください。

団体等の待機場所は有りませんので、ご注意ください。

メインスタンドは、リレー種目に出場する選手・マネージャー・事前に入場許可を得た引率者のみ入れます。

1) 来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避け、参加競技者及び引率者（監督・コーチまたは引率顧問、保護者引率の場合は保護者）のみで来場してください。

2) 競技者及び引率者は競技会開催1週間前から検温を実施し、個人または団体ごとに指定の報告書（チェックリスト）に記載し、招集時に提出してください。書式については大会エントリーファイルに添付の様式を使用してください。

チェックリストを提出しない競技者及び引率者については、原則として競技場への入場及び参加を認めない場合があります。

3) マネージャーは、各団体2名まで入場を認めます。

4) 選手は、南ゲートで体調管理表を見せ、検印を受けてください。

受付（引率者・審判）は、正面玄関前で実施します。その後の入場は南側入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ず体調管理シート・入場許可証・役員章等を提示してください。体調管理シート・入場許可証のない方は入場でません。

① 出場者は南側ゲートからのみの入出場とします。マネージャーは、補助員と同じ場所で受付をした後に、正面出入口から入退場してください。

② 団体受付・競技役員・補助員・マネージャーの受付は競技場南側出入り口前で実施します。

③ 役員・補助員の出入り口も南ゲート。

5) 体調管理シートは、すべての入場者に必須です。検温後に提出してください。

1 本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

※WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール改定が2020年12月1日から実施となりました。800m以上のトラック種目では、靴底の厚さが25mm以上のシューズは使用不可です。

詳しくは、10 競技用靴についてを参照してください。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

(1) 2020年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。走高跳、走幅跳は胸または背につけるだけで構いません。

(2) 1500mに出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつけてください。

腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係に返却してください。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップは、北陸上競技場内で行ってください。直線競技実施中はバックストレートも使用して構いません。また、1500m時には、スタート前は一旦コース外に出てください。その後は、4～8レーンをバックストレート中央部～水濠付近までを使用してください。安全に配慮し、競技役員の指示に従ってください。
マークを置いてのバトン練習は禁止します。

**※地下駐車場でのウォーミングアップは厳禁です。
そのような事例を発見した場合には、当日以降一定期間の出場停止等の措置を講ずる場合があります。**

- (2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。
- (3) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で**出場競技者に限って**、ウォーミングアップのために最初のトラック競技開始時刻**15分前**まで使用しても構いません。
- (4) 競技開始前の競技場内での練習では、**持込の牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止**します。
使用した、競技用の器具(スターティングブロック、ハードル等)は練習終了後、元の位置に戻してください。
- (5) **待機場所の設営は禁止**します。競技場正面のスペース・野球場の軒下・瑞穂公園内・レクリエーション広場の軒下・地下駐車場等にシート等を利用して待機場所として使用しないでください。

4 招集について

- (1) 招集所は 大倉庫前第一招集所に設けます。
すべての種目の招集をこの場所で行います。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	50分前	40分前

5 競技場の入退場について

- (1) 入退場は、下記のとおりとします。
南ゲートからとします。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。

7 競技について

- (1) トラック競技

トラック競技は、100mは予選⇒タイムレース決勝、1500m・リレー種目はタイムレースとします。

- ①スターターの合図は英語です。(「On your marks」、「Set」)
- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン(曲走路)を走ってください。
- ④タイムレースの番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とし

ます。

⑤同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。

⑥レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。

⑦リレーのオーダー用紙提出は、すべての組が1組の招集完了時間1時間前とします。

(2)フィールド競技

長さを競う競技はすべての種目で、トップ8を実施します。

①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。

②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。

③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。

(4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色(斜め半分形)のカード、除外は赤黒色(斜め半分形)のカードを示すことによって競技者に知らされます。

8 走高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m65	1m90	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以後3cm
女子走高跳	1m40	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cmです。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません

10 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

さらに、シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)の厚さが種目ごとに定義されました。今大会は、以下の規定で実施します。規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

走高跳 靴底(ソール)全体20mm(かかと含む)

走幅跳が20mmに変更(ただし前部が踵部より厚くならない)。

トラック種目(1月の改定ではスパイク限定で上限30mmだったのが、シューズという括りとなり)

800m未満の種目は20mmに変更、800m以上の種目は25mmに変更。

ただしトラックで実施される競歩だけはロードのルールを適用(つまり40mmの厚底シューズはトラックでも使用可能になる)する。

ロードは40mm、クロスカンントリー25mm、マウンテンランニング・トレイルランニングは制限なし。

11 パロマ北瑞穂陸上競技場の使用について

- (1) 今回の開門時刻は、午前8時00分とします。それ以前には立ち入らないでください。
- (2) ゴミは、各団体・各自（競技役員を含む）持ち帰りください。**
- (3) 競技場1階更衣室は使用は着替えのみとして、短時間使用を終えてください。

12 一般的注意事項

- (1) 本大会はPCを活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (3) 荷物・貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
- (3) 競技中に発生した負傷・傷病等の応急処置は主催者において行いますが、以後の責任は負いません。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影マネージャー・付添のみ、**メインスタンドのみ**とします。それ以外での区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、走高跳で試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※許可区域以外での撮影や、他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。

参加者の皆さんへ

厚底シューズの使用について

A 規則第 143 条（TR5：シューズ）のルール改定により、2020 年 1 2 月 1 日からはすべての競技会において、以下の通りとなりました。

トラック競技の 800m 以上の種目では、25mm 以上の厚底シューズを使用しての出場は不可（競歩を除く）となりますのでご注意ください。

規定外のシューズ等を使用したことが判明した場合は失格となります。

【靴底の厚さ】

種目	ソールの最大の厚さ (TR5.5、注意(i),(ii), (iii)及び、TR5.5 の図 (a)並びに有) TR5.13.3 に基づく	補足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。 競歩種目ではロード種目と同様とする。
クロスカントリー	25mm	
ロード種目(含む競歩)	40mm	
TR57 の種目 (マウンテン・トレイル)	規定なし。	